

ほっけもん

238 かさ



『春を彩る芝桜』

持留地区農業構造改善センターには、持留地域づくり協議会が植栽した芝桜が花を咲かせています。寒さの影響からか満開ではありませんでしたが、ピンク色にも紫色にも見える鮮やかな芝桜は思わず見入ってしまいます。

ご家族・ご友人と一緒にお花見をしてみたいかがでしょうか。(平成29年4月2日撮影)

今月の表紙

薩摩郷句 兼題『将来』

今じやがち 将来か考げんじ 遊つ放題

(唱) 遊つの計画で 曆ま貞つ黒

満石うらら

将来く見込ん 手を出た株い 狼狼ろつ

(唱) 家屋敷が全部 人手い渡つ

上村 牛歩

将来の夢 聞けば全員 公務員

(唱) 世界は相手すい 子供ま居らんか

西ノ園ひらり

将来く思つ 植えた杉どま あてならじ

(唱) 外国産が 幅を利かせつ

北村 虎王

アメリカん 将来く世界中が 心配を焼つ

(唱) 世界のリーダ 頼んどアメリカ

二見愚楽満

将来が無ち 終活忙し 老夫婦

(唱) 喧嘩せんごつ 金も使ごつ

上窪 小絵

将来かプロち 期待ゆ背甲い 蹴いボール

(唱) 勘も良か態で シュートも決まつ

諸木 小春

大崎短歌会 兼題『風』

あたたかき 風なごみある ひとごころ

タンポポタンポポ ふくらみそめぬ

大和てるみ

向かひ風を 詠みし歌をば 口遊み

歩く弥生の ついたちの朝

原田 葉子

そよそよと 吹く風に乗り 北へ行く

八五四羽の 鶴を見送る

長重 悦子

風になり 姉達住める 天国の

上で舞いたい のぞいて見たい

坂元つる子

北西の 風にブルブル 震え立つ

豌豆の棚 ネットでかこむ

穂園 芳江

大崎俳句会

うらら日の 友の絵葉書 眺めをり

ラジオ止め 聞く鶯の 初啼きを

桑原 正樹

初雪の ちらちら舞ひて すぐ消ゆる

三浦 倫子

駆けまはる 子午の育つ 梅の庭

暁焼きに 笹もて走る 風立ちて

三味の音に 寒さ吹きとふ ハイヤ節

内村美恵子

人権啓発シリーズ

その他の人権問題 (ホームレスの人々と人権)

ホームレスとは

経済的事情などにより、路上生活などを余儀なくされている状況にある人々のことで、失業などが原因で住む所が無くなったり、悪質な金融業者などの取り立てから逃れようとしたケースなど、様々な事情が考えられます。多くが、公園や河川敷などにテントを張り、廃品回収の仕事をして暮らすなど、過酷な状況で生活しています。

国・地方自治体の対策等

平成14年、『ホームレスの自立の支援等に関する特別措置法』が施行され、国や地方自治体、民間団体などの努力により、以前に比べホームレスの人々に対する社会的支援は進んだと言えます。しかし、全国的にはまだ多くのホームレスの人々が過酷な環境下にあり、偏見による嫌がらせや暴力事件などの人権侵害が起きています。

(公益財団法人 人権教育啓発推進センター『ホームレスの人々と人権』より)